

## オーディオ実験室収載

### My Sonic Signature Gold の活用(37) —アナログと他メディアの比較試聴(37) —

#### 1. はじめに

前報(36)に引き続き、ハイドンの交響曲の CD を取り上げていきます。

#### 2. My Sonic Signature Gold の試聴結果

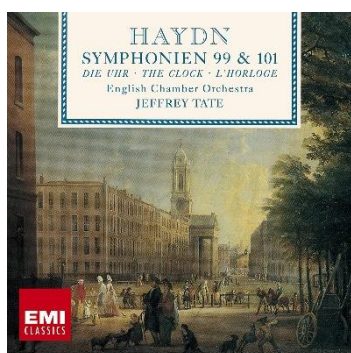
前報(13)に述べた方法で試聴していきます。

#### 【CD】

EMI TOCE-13141 ジェフリー・テイト指揮イギリス室内オーケストラ  
ハイドン 交響曲 94 番驚愕 交響曲 95 番 交響曲 97 番



EMI TOCE-13143 ジェフリー・テイト指揮イギリス室内オーケストラ  
ハイドン 交響曲 99 番 交響曲 101 番時計



PILZ 160173 フィルハーモニア・スラヴォニカ  
ハイドン 交響曲 99 番  
フィルハーモニア・スラヴォニカ  
ハイドン 交響曲 94 番

アルフレッド・ショルツ指揮南ドイツフィルハーモニー  
交響曲 101 番時計

3. My Sonic Signature Gold の試聴結果

テイト指揮イギリス室内オーケストラの EMI TOCE-13141 盤は、きびきびとしたテイト指揮の下、軽快な演奏です。

テイト指揮イギリス室内オーケストラの EMI TOCE-13143 盤も同様です。

フィルハーモニア・スラヴォニカとショルツ指揮南ドイツフィルハーモニー盤は、前報(36)のアドルフ指揮フィルハーモニア・スラヴォニカ盤とよく似ており、テイト指揮イギリス室内オーケストラより、ゆったりとした演奏です。

4. まとめ

前報(36)に引き続き、今回も廉価盤ばかりとなりましたが、前報(36)と同様、イギリスのオーケストラの演奏とドイツないしは中欧系の演奏とに演奏スタイルが分かりますが、どちらかと言えば、後者の方がハイドンの演奏としては好ましく感じられます。

以上